

毎月、情報を紙でお届け 「あの手この手」

*登録団体などに
毎月配送します。
*市内学習センター、
イベント観光協会
の窓口にあります。

今、新緑の葉がたくさん
「センター」前の
大イチョウ
季節の変化を
伝えてくれます。
これも、「センター」からの
情報ですよー
HPに随時掲載中。

「センター」ホームページ

情報は、いつも新鮮

*日々更新中。
*「トピックス」
「イベント」
「助成金」等の情報
*会議室の予約状況
もわかります。

知りたいことがここにあります。伝えたいことがここでできます。

「センター」はあらゆる市民活動を推進・応援・共育する施設・情報の受発信基地です

毎月末にEメール ニュースレターを配信

*Eメールアドレス
を届けると
配信されます。
*月間と次月の
「センター」情報
Web-Siteリンク。

FM やまと77.7MHzに

生番組出演できます
第1・3・5火曜日9:00~10:00「朝ラジ☆ホ
ットスクランブル」大和市民活動センター
だより『やまとっ☆みつけた』にオン
エア中...延 154 回 (2007. 12~
2012. 4)の出演実績。

タイムリーに注目情報を 屋内外の掲示板に掲示

*神奈川新聞・タウン
ニュース大和版・リベ
ルタ・広報やまと・
他のセンター広報紙
などの記事・写真。
*登録団体チラシ。
*参考図書。

*出演者がパーソナリ
ティー・ジョニーさん
とヤリトリしながら
活動をPR。
*リスナーに自分たち
の活動を広く伝え
られます。

「センター」の
ある日ある時

4月17日(火)曇りのち雨

隔週の水曜日にフリースペースでP
C学習をしていた83歳の山下さん
（「あの手この手」2012.3月号で紹介
記事）の息子さんが来館。13日(金)
お花見をした夜に急性心不全でお
亡くなりになったとのこと。11日(水)
も「センター」で元気に学習されて
いたのに。ご冥福をお祈りします。

*「あの手この手」は大和市民活動センター
のH.P.ではカラーでご覧になれます。

「あの手この手」の表紙を2010.11月号、2011.1月号、3月号
に掲載の金子寿さん(障害を負い手足が動かず口に絵
筆をくわえて詩画を描く)の絵画展「命の水を詩画に」を
観にいきました。四季おりおりの庭の花々や道端に咲く野草などを、
じっくり観察して繊細に描く絵と心温まる詩で描かれた作品が一杯で
した。(s. s)



大和市民活動センター[拠点やまと]が制作発行する
月刊広報紙「あの手 この手」。

2012年5月号(第58号)をお届けします。

野っばらでカラスが鳴くまで思う存分あそび、腹ペコになって家に帰る。それが「あそぶ」というやつだったなあと、「子どものあそび」について、自分の60年も前のことを最近いろいろ思い出していたら、昨日4/28付け毎日新聞夕刊の記事に以下のような「子どものあそび」のことが載っていたのを見つけました。

福島県郡山市の幼稚園では屋内に12㎡の砂場をつくったとありました。「放射線量が高いので外であそばせてほしくない」という保護者の声に、「運動不足が心配で園児には廊下を走らせている」という副園長さん。今度は屋内に砂場をつくった。砂場の砂2.7トンは安全を確認したオーストラリアから輸入したものとか。

もうひとつ、福島県のある村立小学校の教頭先生が日本スポーツ教育学会で報告した例です。校庭は東電福島第1原発の事故で使用は時間制限になり、体育館は避難所として長期間使えなかった。東日本大震災から5ヵ月ぶりに体育館で「鬼ごっこ」をしたら、顔と顔をぶつける子どもたちがいたといいます。「目の前に迫った相手との距離感がつかめず、かわすことができなくなっていたのです」と。(毎日新聞「発信箱」2011/11/17)

「なんとか子どもたちに身体を動かすあそびをさせたい」。

子どもたちの未来を案じる現場の先生方、現場のスタッフの必死な思い、工夫を重ね、試行錯誤しながら頑張っている姿が伝わってきます。

「野っばらであそぶ」。

今やこれ、「ぜいたくなあそびの範囲」になってしまったのでしょうか。

木々の緑、風のそよぎ、野鳥や虫の鳴き声、四季が見せる変化の姿などを知らず知らずのうちに知覚する。こうした光と風と水と土のなかで、時には怪我や取っ組み合いの喧嘩など、手痛い経験をしながら、私も「あそび」の技術や掟(おきて)までをも「野っばら」で群れてあそぶことで仲間から獲得してきたように思います。

記・小杉皓男[拠点やまと]広報係 2012/04/29



イラスト・望月則男